

おんが

発行所 遠賀町役場
 編集発行 遠賀町庶務課
 印刷所 印刷所
 冷牟田印刷合資会社

年頭所懐

遠賀町長 小川 登一郎

輝かしい昭和四十二年の新年を迎え、謹んでおよろこび申し上げます。

顧みますれば昨年は農民みなさんの、稲作に対する格段の情熱と努力によって、更に之に天の恵みを得て、近年に稀な豊作を勝ちとられました。

農業を主業とする本町にとってこんな幸せはなかったと存じますが、どうか本年も最良の年でありますように祈念してやみません。

町政におきましても私乏しき身を以って、町議会ならびに町民各位の絶大なご協力とご支援を得て、牛歩ながらも「明るい町造り」にいそしんで参りました。町財政極めて窮屈な中であります。



待望の定期バス開通のテープを切る町長 外関係者

すが、浅木小学校の講堂兼体育館の落成、引き続き遠賀中学校防音改築校舎の竣工、運動場の拡張整備やプールの新設、更に町公民館の建設、緊就工事による吉原川の改修、道路の整備工事、さる二月には町内三百余ヶの農集電話の開設など、遅々たる歩みの中に教育、文化はもろろん、町民の幸せのために、郷土開発のために聊か努力して参りました。

本年においては上別府高家の国有林を中心として、県立遠賀農芸高等学校の敷地造成(約四万坪)に取りかかり、引き続き移転校舎の建築などが始まることになっていきます。之と共に上別府(高家)地区の鉱害復旧工事も、本年

度から来年度にかけて約数十町歩の耕地が復旧され、農道も整備される予定になっています。西川地区の洪水防除工事も、本年度は松の本、広渡部落をつなぐ排水溝設置工事などが施工され、之が完工の暁は遠賀平野の洪水も早期に除去され、長期間の洪水禍から救われることになるでしょう。国道三

号線の交通危険はさることながら、西川橋から別府に至る国道の南側に歩道を設定する工事も、目下工事中で近く完成の後は学童の通学は勿論、一般の歩行も危険から脱することができましょう。また、国道から虫生津に通ずる県道(遠賀、鞍手、直方線)の舗装も本年度中には虫生津に至る全線完成の予定であります。

遠賀川堤防添いの県道と国道三号線の立体交差工事も目下施工中であります。又、遠賀川北側埋立地を主体とする宅地造成計画も、曩に町議会の同意を得て業者をして之が実現に努力させています。近く之が工事に着手し、ここに二三百戸の住宅建設が実現すれば、この地域の開発は急速に促進されるのであります。

なお、基地対策事業として、従来拡声放送施設を有する部落(島津、若松、鬼津、尾崎、今古賀、広渡、老良)に対しては、飛行機爆音による被害補償工事として、有線放送施設の強化を行なうことになりました。また、基地周辺の井水濁濁部落として、下四区に対し水道敷設工事も計画し、民生安定の一貫事業として取りあえず本年度島津、若松に敷設することにしたしています。浅木小学校の防音改築工事も昭和四十二年度には是非実現できるように目下強く陳情を続けています。芦屋鉄道の県道化も県予算の関係上遅々として進みませんが、早期に完成するよう努力いたします。

また、北部地域のバス運行も水間の懸案で、西鉄、陸運局などに強く陳情を続けてきましたが、やっと昨年末から運行の運びとなり、関係住民待望の夢が実現したことを喜ぶと共に、同地域の開発と今後の利用を切望いたします。

その他塵埃処理の問題、失業対策、用悪水路の浚渫など、幾多喫緊の重要案件を控えています。これ等も徐々対策を考究し「明るい住みよい町造り」に一層挺身したいと思っております。

どうか本年もこの上とも、町民みなさまの一層のご理解とご協力を切にお願いいたします。新しい希望に充ちた年頭に当り、耶か所懐の一端を述べて年頭のご挨拶といたします。

北部地区に定期バスの運行が開始されました

長い間の懸案であった、遠賀町北部地区に西鉄定期バスが運行を開始しました。

さる十二月二十二日、地元尾崎二又において、西鉄関係者、県土木事務所、折尾警察署、関係部落代表者、町当局関係者など多数参加して開通式が行なわれました。

午前十時上り第一便を迎え、運転士、車掌に花束が贈られ、町長、折尾警察署長、土木事務所長、西鉄赤間営業所長によって紅

白のテープが切られ、待ちに待った定期バスが開通しました。

また、関係部落の各停留所にも部落民多数が歓迎に出迎え、心から祝福しました。

地域開発を図るには、道路の整備、交通機関の発達が重要な要件であることは申すまでもありませんが、今後この定期バスの開通により北部地区の開発が一段と進むことを期待したいものです。

明るい老人クラブを

遠賀町老人クラブ連合会々長 有吉 誓

昭和三十八年法が制定されて最早五年目になり、初めは多少まごついたが、追々緒につき事業の内容も充実しましたことは、当局の熱誠なる指導、町民の後援、また会員諸氏の自覚によることで深く感謝する次第である。

然し生等はこれに満足せず更に向上発展には数段の努力を覚悟せねばならぬ。

欧米先進国ではすでに百余年前から各種施設が完備し健全なる運営が行なわれ、国によつては貧富の別なく老人全部に充分なる生活を保証し、また施設に収容して居る、この点ではわが国は甚しくおかれていて、何事も順序がある一朝一夕で完成するものではない。矢張り時間が必要である。

わが遠賀町老人クラブも目覚ましい発展を遂げ成果をあげ他におかれてはいない。しかし他を見ればまた学ぶべき点が多々ある。その長を取りわが短を補うも決して忘れてはならぬ。これが進歩である。昨年、県下でもっとも好成绩をあげている筑後市の夫れを見学し、また町村クラブ幹部と合会の際は務めてその活動を聞いています。参考になる点がある。

元来われ等年令層の会員は四年来、六年の義務教育を受けその後の進学に余り恵まれていなかった。この点は戦後のそれ等とは大きな開きがある。戦後学術の進歩向上、社会の発展変遷は誠目まぐるしく、面目を一新し、瞬時の閉目は数日のおくれを来す。明治のわれ等が封建の父兄を忍ぶ如く、今日の青年われ等を如何に見るか心すべき事である。数歩の後れは敗者である。共に語るに足らずと疎んぜられてもいたし方ない。老態扱いはされるかも知れぬ。

吾人の修養は終生終わるものではない。これを挽回するには教養が第一である。

われ等老人クラブの行事に健康、教養、娯楽、慰安、融和などと羅列してあるが、私はここに健康と修養を推進したいことを強調する。平素強健、元氣な人は、保健衛生など説いても、なかなか耳を傾けない。大言壮語して煙草や酒を摂り平気であるが、一旦故障を起せばあわてて医門を叩くが、それでは遅い。老令変化は一朝一夕で起るものではない。すでに三才ころから進行初めるところから保健に注意する者が最後の勝利を得る。慎しむべきことである。

美しい環境と話し合いを

遠賀町婦人会長

自分の郷土を愛しない者はありません。「明るく住みよい町」と皆願っています。さて、明るい町とはどんな町でしょう。

それは、美しい環境、立派な学校、整備された道路があつて交通が発達し、税金安く、経済的に皆が安定し、楽しく働き暮されたら、これ以上の幸せはないでしょう。しかし、これは理想です。お金がなければできないことばかりですから、そこでお金をかけないで、できることを考えてみましょう。

先ず、美しい環境作りです。戸毎に綺麗な花が咲き乱れ、ゴミの散っていない庭や道路に囲まれて暮らすことです。これは一軒一軒が心掛けて、やればできることです。部落の道路も大切に、ゴミを捨てないようにするのです。若松部落では清掃日をきめて実行していらつしやいます。花の綺麗な家

教養についても同様で平素の心掛けが物をいう「世界は大学なり」との諺がある。人いたる所に教養の糧がある。これを上手に利用する者が人生の真価を発揮する。新聞を読み「ラジオ」「テレビ」の見聞、それ等の発行放送局の見学各種の工場、社会施設「ダム」さらに適當なる芝居、寄せ、娯楽「センター」競技場「デパート」など何れも、生等の知識を広めてくれる。また一方名士の講演、専門家の話、さらに教師、警察、法律家などいくらでもある。

これ等によつて知識を広め、教養を高め、以つて人に接し家族を率いれば、人後に落ちず対等香それ以上の人格者として世に立つことが出来る。おたがいにかくあるべき老後を送りたいものである。(昭和四十一年十二月十二日記)

浜崎 那須

をみると和やかない気持ちがあります。遠賀川の国道筋の狭い空地に、ゴミを被り葉っぱを黒ずませて花の咲いてるのを見ると嬉しく涙ぐましくなります。新聞記事での婦人の化粧と仕事の能率の実験結果では化粧した方が能率が上がったことがありました。身仕舞きりつとすると働きたくなりません。身の囲りを綺麗にして、いい気持ちで仕事に励んだらどうでしょう。

次に自分の暮しをよくするため話し合いをすることです。農作業が辛くてとほす前に、休養を

遠賀町の皆さま、明けましておめでとうございます。昨年には政界の黒い霧、飛行機墜落事故、殺人、自殺、交通事故と

どうするか、農休日も守られていないが、やろうと思えばできます。遠賀川商店街の休日を守られていますから、悪い困ったこと、こぼす前に、皆で話し合い解決しようとして努力することです。話し合いによって私達の身の悩みが解決すると思います。私達の身の悩みが解決すると思います。私達は話し合いによって自分たちの生活の諸問題を解決しましょう。八幡区の野犬で子どもが噛み殺された事件も、これは人々の心掛けが悪いのです。当局をせめる前に、自分たちの行ないを反省しましょう。私たちの町でも犬を放し飼いにして、人々に不愉快な思いをさせ、捨て犬が平然と行なわれていきます。

町の政治は議員と吏員がするのだ悪いことは文句をいえばよいなど、人まかせでなくて、よく話し合い努力しなければなりません。人は社会が悪いといいますが、社会は一軒一軒の家の集りです。

自分の家を大切にして住みよい町にしましょう。私たちの身の辺のどれ一つとり上げても、政治とのつながりの、ないものはありません。人まかせでなく、自分たちの話し合いで努力をしましょう。選挙も四月にあります。よい町づくりにには、よい人を選ばなくてはなりません。

美しい環境と、よい政治が行なわれたら、私たちの町は明るく住みよい町に、たとえお金が足らなくともなると思っています。おたがいの心のつながりで、努力していきたいものだと思います。

一町民としての考え

遠賀町青年団連絡協議会長 添田 一成

暗いニュースの連続で一年を終わりました。幸いにも遠賀町におきましては重大事故はなく無事新年を迎えましたことは真に、嬉しく

思う次第であります。そこで新年を迎えるにあたり、若い世代の代表として「明るい町づくり」について私個人の意見を記述させていただきます。

第一に、町民誰もが町政を知り自分たちの手で町政を担当する気持ちがあると思います。町政を知るためには議会を傍聴する。その他いろいろあると思います。私は「町報おんが」の充実を念願しております。現在これは〇月〇日に〇〇がある。〇月〇日に〇〇があったなどの行事予告あるいは結果報告が大半であります。これも大切であることは言うまでもありませんが、もっと遠賀町は現在どんな計画で何の目的で進んでいるなどの内容にしろもらいたいと思つて。これにより少なくとも遠賀町の大事がつかめるのではないのでしょうか。

第二に、町民の声を気軽に聞ける機関がほしいと思つて。現在これは役場内に、設けてあると聞いておりますが、私たちには取りつきにくく思われ、利用度においても疑問があると思つて。役所としても苦情などを待つのではなく、積極的に町民の声を聞ける機会を設けてほしい。そして真

町民の熱意と協力が肝要

遠賀町商工会 永田良彦

「今年は今までは明けにけり」という謠をそのままに、また四十二年を迎えてしまいました。そうした平凡な私ではあります。昭和三十九年四月に村から町制への移向を契機に、町内を美化することが先決ではないかと同志と計り、商工会の会員の賛意と関係当局の協力に加え遠賀川区の皆さん方の援努を得て、区内の国道を旧道に街燈を新設させていただきましたのは、つい二年前であります。

の声を町政に反映できることを念願しております。第三に、遠賀町は北九州市、福岡市の中心地で、産業および文化発展の結合点、そして衛星都市として重要な地理的条件下にあるように、考えますが、それにもかかわらず、私が無知であるからかも知れませんが、周囲から取り残されているように思われなくなりませんか。たとえば北九州の衛星都市としては遠賀町を過ぎ宗像部へと発展しております。第四に、町民の結びつきであります。部落民と部落民との結びつき、若い世代とそれ以上の結びつきに關して断層があるように思われつてなりません。第五に、土木事業に關しては、例をとりますと道路などの問題で応急的処置が多すぎるように思つて。悪くなつてはバラスを入れ悪くなつてはバラスを入れた状態にして歩行者にとっては危険な状態であると言えましょう。そして経費におきましても、その都度、都度で高くなると思われまふ。以上、とりとめないことを書きましたが、本年も平和に明るい一年であることを念願して私の考えを終わらせて頂きます。

に清掃への歩みをはこびつつあります。町当局でも昨年は、遠賀中学校、浅木小学校講堂などの落成、さらに町公民館の建設がなされました。土木工事ではバス道路の完成や河川堤防の改修など未完成のものもありますが、遠賀町の発展への足が開かれるようすです。また、役場裏の埋立地も本年早々町民の夢である住宅団地ができると聞いている。さて工事は完成したが、いつ住宅が建つのかと憂慮している。関係者に一層のこの努力を期待します。かねてからの懸案であった西川橋も人道の拡張増設工事が十二月から施工されているが、この堤防に塵芥を捨てる一部住民があること

農業に自信をもとう

遠賀町4Hクラブ会長 白石純夫

新年おめでとございます。昨年は農家にとっては記録的な豊作で、農民の一人として共々お喜び申し上げます。町報の寄稿に際し、私の考えの一端を述べてみたいと思つて。私は農家の長男として生まれ、農業高校を卒業して農業に従事して八年自になります。今まで多くの人々から農業に対する意見を聞かれましたが、いづれも「農業を立派な職業として理解されていない」ことす。

それは日本農業の歴史的背景がいつの時代においても貧困であり、封建的であり、かつ主体性をなくした従属的なものであったこととはご存知のとおりでありまして、その暗い、古いイメージが現在まで受けつがれたことは否定できません。その結果現在の農業者の中にも、たえず農業に対して劣等感を抱き、不安をもち、結果的にはあきらめとなつて、希望も意欲も失つてしまった消極的な態度が農業を自らつまらないものにしてしまったのではないのでしょうか、又周囲がそのように仕向けてしまったのだと思つて。私はよく人前で君はなにをして

聞くが甚だ残念でならない。町財政の厳しい中で諸般の事業であるだけに、おたが町民の熱意と協力がこそ肝要であると信ずる。遠賀川につき木守、虫生津など団地ができたが次々に住宅が建設されるのも最早や時間の問題として期待したい。戸数の増加につれ、すべての町民が、この明るい町づくりの協力の熱意に欠けるならば劣つて功の無い一寒地として取り残されるであらう。さて、町当局に直接関係されている諸公より希望溢れる町づくりに対し私たち町民もその一翼を担い完成されてゆく遠賀町の未来像を夢見つつ本年も張り切ってゆきたいものである。 畧言多謝

いる？と聞かれます。農業をやつてます、と言えればホホホ！現代の青年にしてはげずらしい、感心である」とときまわり文句がかえつて来る、私は何かこの言葉に強い反発を抱かずにはおられません。私はずっと農業に希望を持ち、全ての生命を農業に打ちこみたいのです。それは家のためでも、他人のためでもなく自分自身のためであるからです。従つてこの自分の選んだ職業に対して「感心だ」と賛辞を受けるのは心外であるということす。

私たちは衣食住の中の食糧供給の重大な部門を担当しており、この職業に対して責任と誇りを持つべきと信じます。そして永々と続いたこの遠賀の土地にガツチリ基礎を築き、これに4H、即ち健康(HEALTH)、知性(HEAD)、労働(HAND)、精神(HEART)、をもつて新しい近代化農業をはかることが希望です。その為には地域社会におけるサークルの場において私たちが少しでも切磋琢磨技術の向上をはかり、豊かな農業経営の実現のため周囲のご理解とご協力を一重にお願いたします。

今月の税金

町県民税 第四期分 納期限 1月25日
 国民健康保険税 第四期分 納期限 1月31日
 期限内に納めましょう。

庁舎の新築移転について 若松税務署

昭和41年4月から庁舎新築のため、出署されず皆様に大変ご不自由をおかけいたしておりますが本年2月中旬頃には、若松区堺町四丁目(もとの庁舎あと)に鉄筋二階建(一部三階)の新庁舎が完成し移転いたしますので今しばらくくしんぼう願います。

一、事業所得者の青色申告説明会

日時 1月12日 午前10時~12時 主催 若松税務署
 場所 遠賀町役場横公民館

第3回町民マラソン大会

主催 遠賀町教育委員会

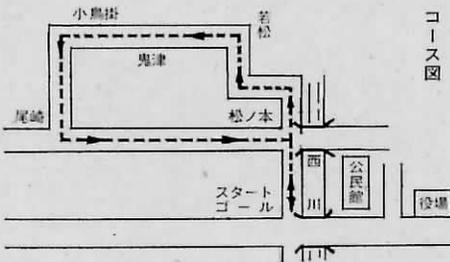
一、期日 昭和42年2月5日

二、集合場所 遠賀町公民館前

三、参加資格 遠賀町内に在住する一般社会人、高校生、中学生、町外者の参加オープンとする

四、実施種目

- ①中学生の部 五、〇〇〇米
- ②一般高校の部 一〇、〇〇〇米
- ③青年の部 一〇、〇〇〇米
- ④オープンの部 一〇、〇〇〇米
- 五、コース 西川橋―若松―



鬼津 尾崎―松の本―西川橋 (約9キロ)

六、表彰 各部とも6位まで

七、申込期日 2月1日迄

八、申込先 遠賀町教育委員会 体育協会事務局宛

御題「魚」 竹森啓祐

○初日さす 玄海灘の鯛と海老 飛躍発刺遠賀町政
 ○新年の御慶一億屠蘇酌みて 鯉数の子君が代の歌
 ○ふるさとの川は懐かし煮釣りて 満ちたる竹籠に母の笑顔も
 ○勝つまでは甘薯と鱈と鯉節 戦抜きし昔思へば

農地被買収者国庫債券担保貸付の実施について

- 一、目的 この貸付は、農地被買収者等に對する給付金の支給に関する法律により農地被買収者国庫債券を受領した者のうち、事業資金を必要とする者に対し、その国債を担保として資金を融通することを目的とする。
- 二、取扱方法 この貸付は、公庫の業務方法書における普通貸付とし、その取扱は、公庫支店の直接扱とする。
- 三、貸付条件
 - (1) 借受人の資格 国債の記名者とする。但し記名者のうち国債を共有する者および法人格のない団体は、借受人の資格を有しない。
 - (2) 資金の使途 事業資金に限る。
 - (3) 貸付限度 志拾万円を限度とする。
 - (4) 貸付期間 五年以内とする。
 - (5) 貸付利率 年六分(延滞利息も同率とする)
 - (6) 償還方法 国債の償還日を支払日とする年賦償還とし、国債の償還金を元利金に充当し、貸付期間満了の日に残債務がある場合は、借受人が弁済するものとする。
 - (7) 担保 国債を徴する。
- 四、申込について 借入希望者は役場の農地報償係で受付いたします。
- 五、受付開始日 昭和四十一年十月十五日より受付してあります。

農地国債の買上償還について

- 一、買上償還の対象者
 - (1) 生活保護法第十一条に規定する保護を受けている者
 - (2) 保護を受けていないが、保護を要する状態に陥るおそれがある者
- 二、買上価格 年六分複利割引により、国債額面全部又は賦札を買上げる。
- 三、申込について 買上償還の申込者は役場の農地報償係で指導いたします。

昭和四十二年度

福岡県産業開発青年隊員募集

昭和二十八年に発足した青年開発隊も以来十四年を経過し、約三百名に達する修了生が全国各地の建設業界で活躍し、国土の開発に貢献しております。

つきましては昭和四十二年度も産業開発青年隊員を左記のとおり募集しますので入隊希望者は経済

昭和四十二年度 農業経営伝習生募集

今日農村におきましては後継者不足が大きな問題であります。福岡県農業経営伝習農場では、有能な農業後継者の育成を旨として左記のとおり伝習生を募集しますので希望者は経済課まで申出ください。

- 一、募集期間 四十二年一月十日～二月二十八日
- 二、募集人員 八十名
- 三、応募資格 中学卒業又はこれと同等の学力を有する者。
- 四、提出書類 役場に備えてあります。